

平成 27 年 12 月 9 日  
鉄道局鉄道サービス政策室

## 鉄道係員に対する暴力行為の実態調査結果について

鉄道係員に対する暴力行為は、鉄道の安全確保や利用者への良質な鉄道輸送サービスの提供に影響を与えるおそれがあります。また、近年、鉄道係員に対する暴力行為に関する意識が高まっています。

これらを踏まえ、国土交通省では、一昨年より、全鉄軌道事業者を対象として、その実態を把握するための調査を実施しております。

調査の結果、平成 26 年度における鉄道係員に対する暴力行為の発生件数は全国で 887 件となり、平成 25 年度の 852 件から 35 件の増加となりました。

暴力行為の発生件数は、昨年に続き高い水準にあることから、今後も、警察等関係者と連携し、暴力行為の撲滅に向けて、広報啓発活動等の取組みを進めて参ります。

今年度も、東京都において、警察関係者と連携して、駅構内等における粗暴事犯防止対策を実施する予定です。

(別紙 1) 鉄道係員に対する暴力行為の発生状況 (平成 26 年度)

(別紙 2) 鉄道係員に対する暴力行為の主な事例・取組み (平成 26 年度)

連絡先：国土交通省鉄道局鉄道サービス政策室

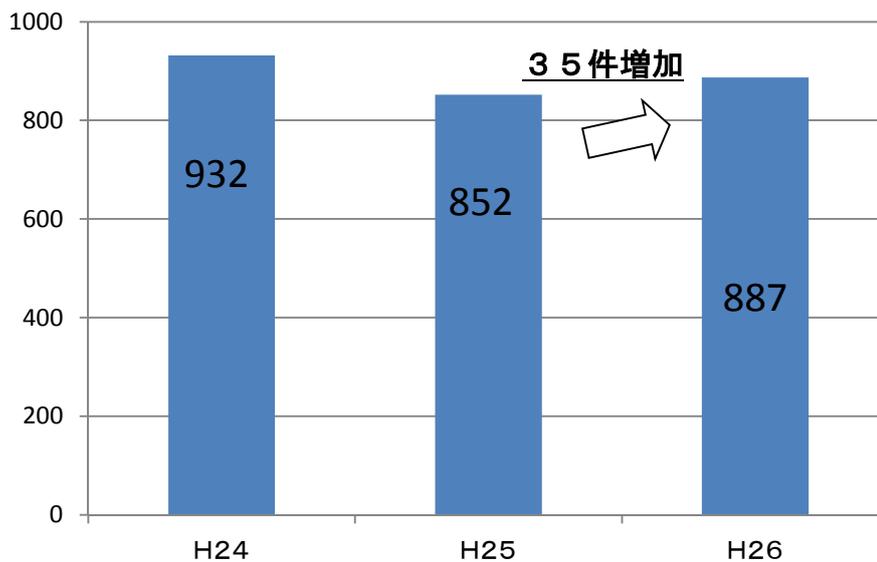
荒木、河内、鈴木

代 表：03-5253-8111 (内線：40624、40633)

直 通：03-5253-8542 FAX：03-5253-1633

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（平成26年度）

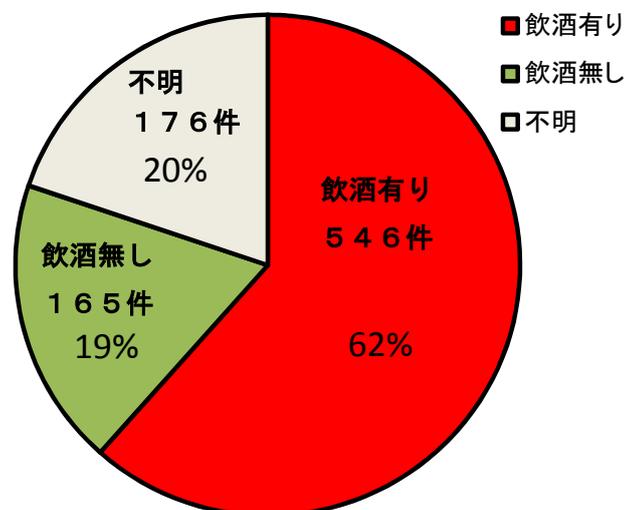
○平成26年度 全国鉄道軌道事業者 計 887件



○加害者の飲酒の有無

少なくとも6割以上の加害者が飲酒有り

※飲酒が判別できないものは不明（2割）に含む





**鉄道係員に対する暴力行為の発生状況**  
(都道府県別:平成26年度)

都道府県名	件数	
北海道	16	(10)
青森県	1	(1)
岩手県	1	(1)
宮城県	8	(2)
秋田県	2	(0)
山形県	2	(1)
福島県	1	(0)
茨城県	14	(13)
栃木県	6	(3)
群馬県	4	(2)
埼玉県	54	(45)
千葉県	45	(31)
東京都	304	(202)
神奈川県	103	(55)
新潟県	4	(2)
富山県	2	(1)
石川県	0	(0)
福井県	1	(0)
山梨県	3	(2)
長野県	4	(1)
岐阜県	5	(5)
静岡県	24	(15)
愛知県	54	(41)
三重県	6	(7)

都道府県名	件数	
滋賀県	2	(0)
京都府	23	(11)
大阪府	75	(36)
兵庫県	39	(15)
奈良県	3	(1)
和歌山県	3	(1)
鳥取県	1	(0)
島根県	2	(2)
岡山県	7	(3)
広島県	12	(11)
山口県	5	(2)
徳島県	1	(0)
香川県	0	(0)
愛媛県	1	(0)
高知県	0	(0)
福岡県	28	(13)
佐賀県	3	(2)
長崎県	2	(2)
熊本県	1	(1)
大分県	0	(0)
宮崎県	1	(1)
鹿児島県	0	(0)
沖縄県	0	(0)
全国合計	887	(548)

※ 暴力行為の発生件数は、唾かけ行為なども含めて幅広く集計しており、このうち、( )内は警察へ届け出た件数である。

※ 全国合計の件数には、列車内で発生し都道府県別の計上ができない14件を含むため、合計が合わない。

## 鉄道係員に対する暴力行為の主な事例・取組みについて(平成26年度)

## 1. 暴力行為の主な事例

月	11月	曜日	金曜日	時間帯	夜
場所	改札	加害者の年齢	30代	飲酒の有無	無
<p>走行中の列車内で乗客同士が揉めていたため、駅到着後仲裁に駅員が仲裁に入った際に眉間を殴打された。 (全治5日間)</p>					

月	1月	曜日	日曜日	時間帯	深夜
場所	ホーム	加害者の年齢	20代	飲酒の有無	有
<p>終列車終端駅にて車内で寝ていた乗客をホームに誘導したが、ホーム上で暴れ出し、止めに入った駅員に対して、左手を引っ掻き出血させた上、鼻に噛みつく、頭突きをするなどの暴行行為を受けた。本件は検察庁に書類送検された。</p>					

月	12月	曜日	木曜日	時間帯	深夜
場所	改札	加害者の年齢	60代	飲酒の有無	有
<p>自動改札機のエラー表示があり、出場できない利用者が暴れ出し、左頬を殴られ、膝で腹を数回蹴られ負傷した。加害者は暴行罪で起訴された。 (全治5日間)</p>					

月	8月	曜日	土曜日	時間帯	深夜
場所	車内	加害者の年齢	60代	飲酒の有無	有
<p>乗客が携帯電話で通話していたので、車内では遠慮いただくようお願いしたところ、突然暴力行為を受けた。 (全治3日間)</p>					

月	2月	曜日	火曜日	時間帯	日中
場所	駅カウンター	加害者の年齢	20代	飲酒の有無	不明
<p>男性が来駅し、「〇〇駅」と言い、突然カウンターに小銭を投げつけ、そのままホームに行こうとしたので、小銭を拾い、券売機を案内しようとしたところ、男性が突然、駅員の右膝付近を蹴ってきた。</p>					

月	7月	曜日	日曜日	時間帯	朝
場所	車内	加害者の年齢	70代	飲酒の有無	有
<p>特急電車において、指定座席と異なる座席に座っている乗客に声をかけたところ、突然激高し、左側頭部を殴られた。</p>					

## 2. 暴力行為の抑止に関する主な取組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>① 警察官・ガードマンによる巡回の実施</li> <li>② 所轄の警察署に依頼し、教習等で護身術訓練に参加</li> <li>③ 「駅構内における粗暴事犯防止官民合同会議」への参加やイベント開催</li> <li>④ 暴力行為防止ポスターの掲出等の啓発活動</li> <li>⑤ 防犯カメラ作動中のステッカーの貼付</li> <li>⑥ 刺す又、カラーボール、防犯ブザー等の防犯グッズの配備</li> <li>⑦ 負荷により外れるネクタイの着用</li> </ul>
---